

サイバーステップ株式会社
2010年5月期
決算説明会

代表取締役社長 佐藤 類

東証マザーズ:3810

2010年7月23日

■ 2010年5月期 決算業績について

■ 11期予算及び中期的な方向性について

第10期(2010年5月期) 決算業績 ご説明

売上高/利益		2010年5月期	2009年5月期	増減額
	売上高	1,493百万円	1,155百万円	338百万円
	営業利益	271百万円	△ 280百万円	551百万円
	営業利益率	18.1%	△ 24.2%	—
	当期純利益	194百万円	△ 392百万円	586百万円

事業展開	◆全体	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域でのサービスの立上げ進む ・北米地域でのサービス基盤を強化(課金接続を10以上に) ・新規タイトル開発着手
	◆GetAmped	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外において大規模アップデートを継続して実施
	◆C21	<ul style="list-style-type: none"> ・新惑星など追加開発 ・韓国、北米におけるサービス立ち上げ準備に着手
	◆GetAmped2	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾、香港、マカオ、ベトナムにおける正式サービス開始 ・北米地域における自社運営サービス立上げ(CSCI) ・韓国、中国における正式サービスへの政府審議提出
	◆CosmicBreak	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾、香港、マカオにおける正式サービス開始 ・北米地域における自社運営サービス立上げ準備(CSCI) ・韓国 OBT開始、中国 政府審議提出

(単位:百万円)	2010年5月期決算 (連結決算)	2009年5月期決算 (連結決算)	増減率
売上高	1,493	1,155	29.2%
売上原価	402	274	46.7%
販売管理費	819	1,161	△29.4%
営業利益	271	△280	
営業利益率	18.1%	△24.2%	
当期純利益	194	△392	
EPS (円)	9,846.13	△19,753.57	

⇒海外立ち上げが進み3期ぶりに黒字化

(単位:百万円)	2010年5月期決算 (連結決算)	2009年5月期決算 (連結決算)	増減率
流動資産	782	678	15.3%
(現預金)	665	511	30.1%
総資産	940	875	7.4%
固定資産	157	196	△19.8%
流動負債	199	384	△48.1%
(前受金)	8	254	△96.8%
固定負債	102	70	45.7%
純資産	637	419	52.0%

(単位:百万円)	2010年5月期決算 (連結決算)	2009年5月期決算 (連結決算)
営業CF	122	△278
投資CF	△43	△16
財務CF	37	101
現金及び 現金同等物の増減	114	△202
現金及び現金同等物 の期末残高	565	450

ポイント

◆2010年5月期決算

主として、売上高の計上1,493百万、売上原価の計上402百万、販売費及び一般管理費の計上819百万円により営業利益271百万
また、前受金の減少246百万円、未払費用の計上65百万円、法人税等の支払額71百万円などです。

◆2010年5月期決算の営業CF

主として、税金等調整前当期純利益の計上265百万円、売上債権の増加40百万、未払費用の増加42百万などです。

◆2010年5月期決算の財務CF

主として、長期借入金の借入による収入50百万円などです。

11期予算及び 中期的な方向性について

■ サービス事業

- 国内サービス体制の強化、新規タイトルのβテストの実施
- 北米、韓国、欧州地域の自社運営サービスの立ち上げ、拡大
- ⇒ 自社開発自社サービスを強みにする海外サービス基盤の強化

■ ライセンス事業

- ゲットアンプド2、コズミックブレイクのサービス立ち上げ
- 中国語圏をターゲットとした新規タイトルのライセンス
- 既存タイトルの収益性強化

■ 研究開発活動

- 新規タイトル/新規サービスの企画、開発
- オンラインロボットサービスの事業化
- 新たな研究開発に着手

2011年5月期 連結業績見通し



(単位:百万円)	2010年5月期決算 (連結決算)	2010年5月期決算 業績予想(連結決算)	増減額	2011年5月期 業績予想(連結決算)
売上高	1,493	1,600	△107	1,100
営業利益	271	189	82	△64
経常利益	265	184	81	△69
当期純利益	194	89	105	△104
EPS (円)	9,846.13	4,489.16	—	△5,256.20

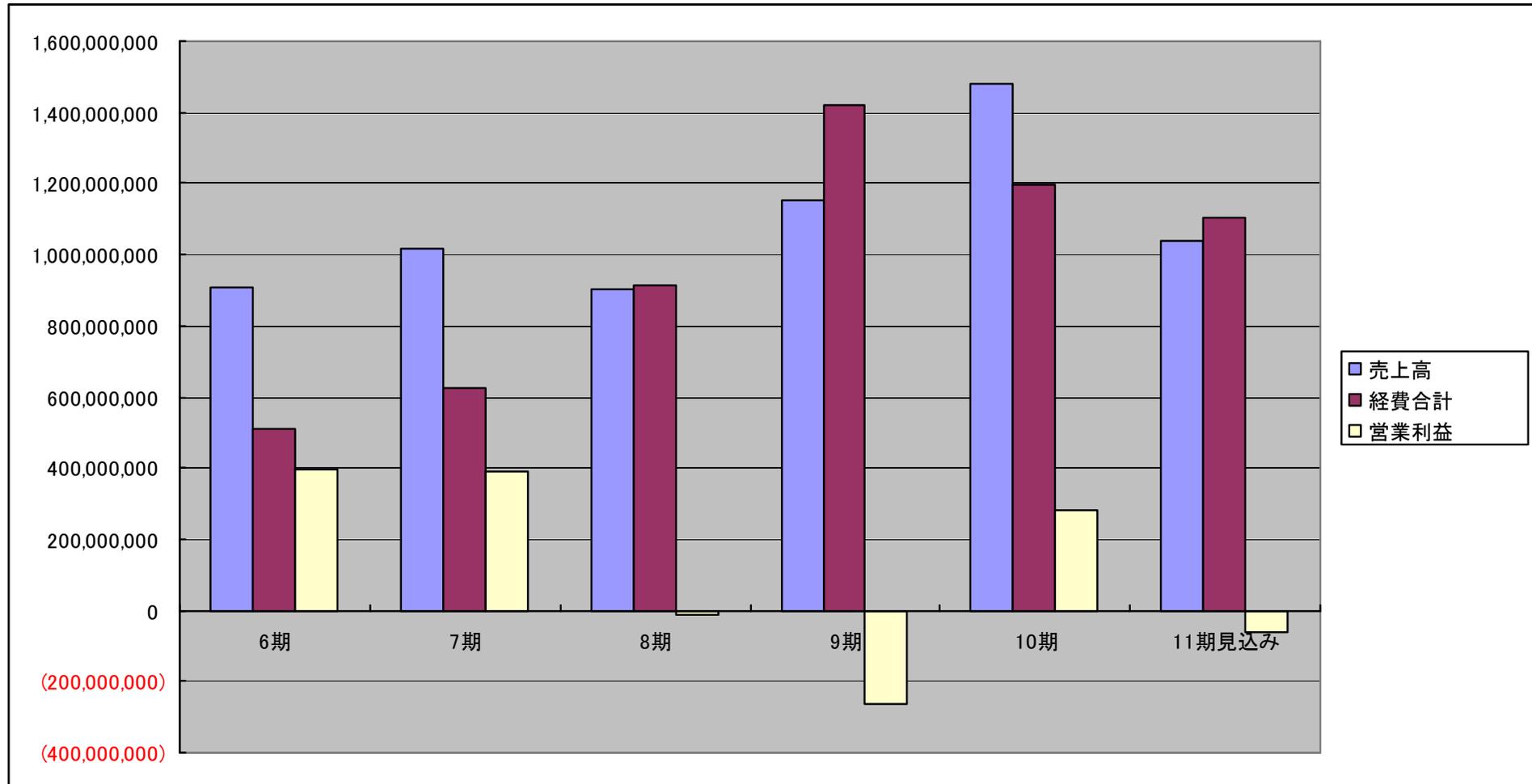
- ◆ 円高の影響により売上の4割を占めるロイヤリティ売上の伸び悩み。
- ◆ 経費削減、採用抑制等のコスト削減効果により月間1,000万円からの費用削減を進める。
- ◆ アジアにおける新規タイトルのサービス開始(上期)/日本における新開発タイトルのサービス開始(下期)/北米、韓国、欧州における既存タイトルの立ち上げに注力し、収益性を改善させ、売上成長を実現する。

業績の推移



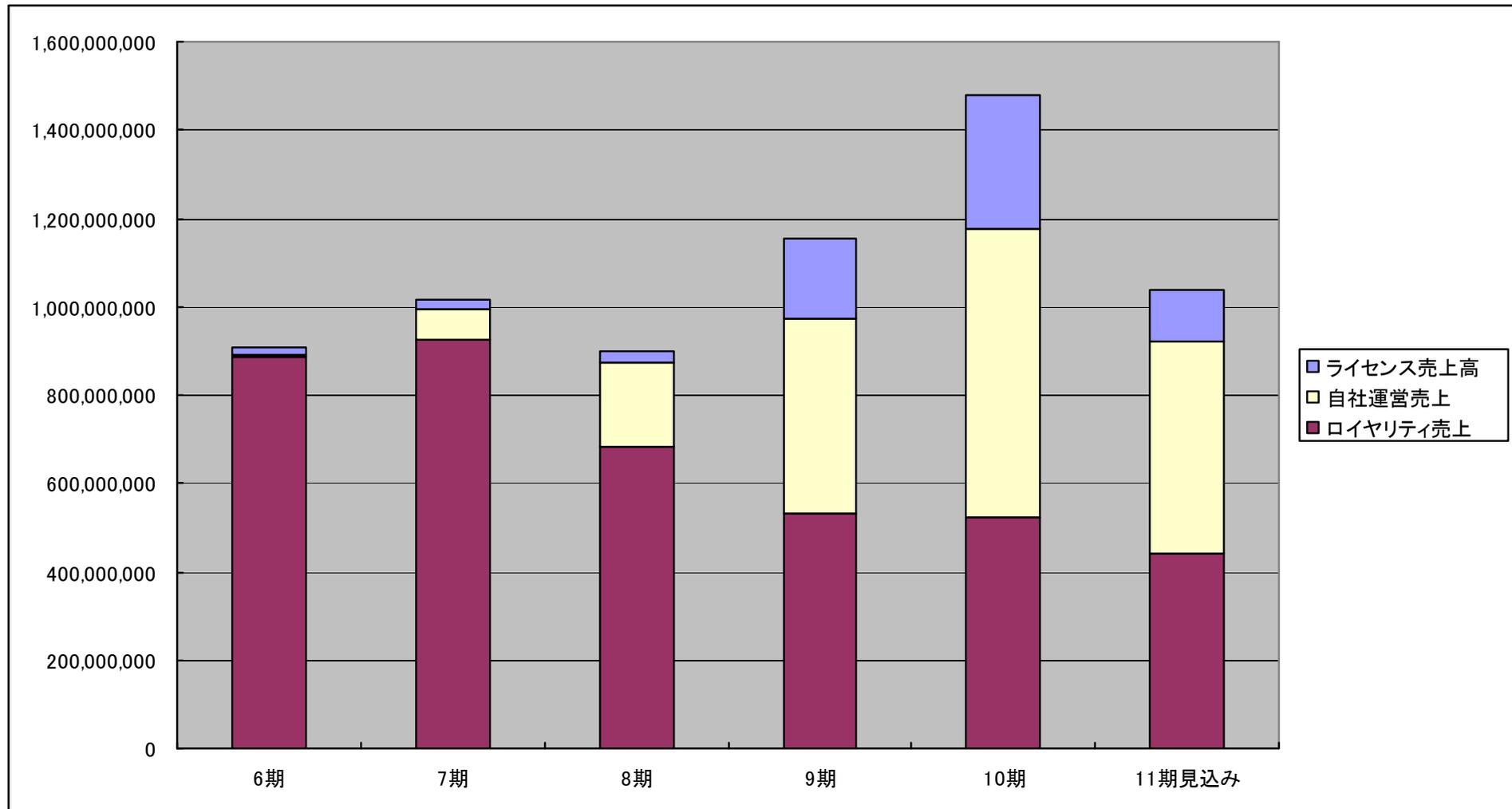
◆ 連結業績推移 及び 11期見込み (事業年度別: 売上・経費・営業利益)

(単位:円)



◆ 連結業績推移 及び 11期見込み (事業年度別: 売上内訳)

(単位:円)

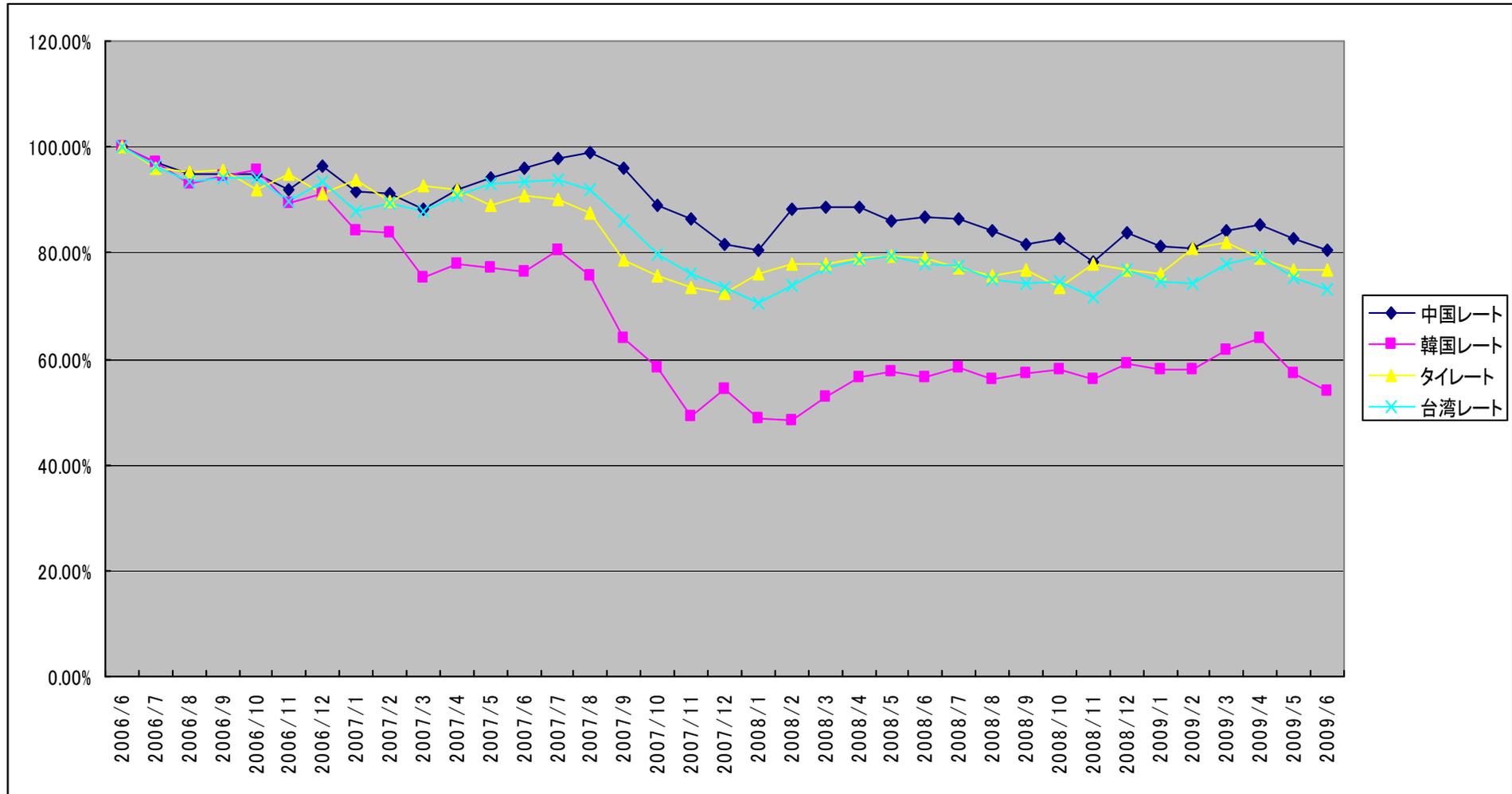


業績の推移



◆ 連結業績推移 (主サービス地域別 為替レート)

(単位:円)

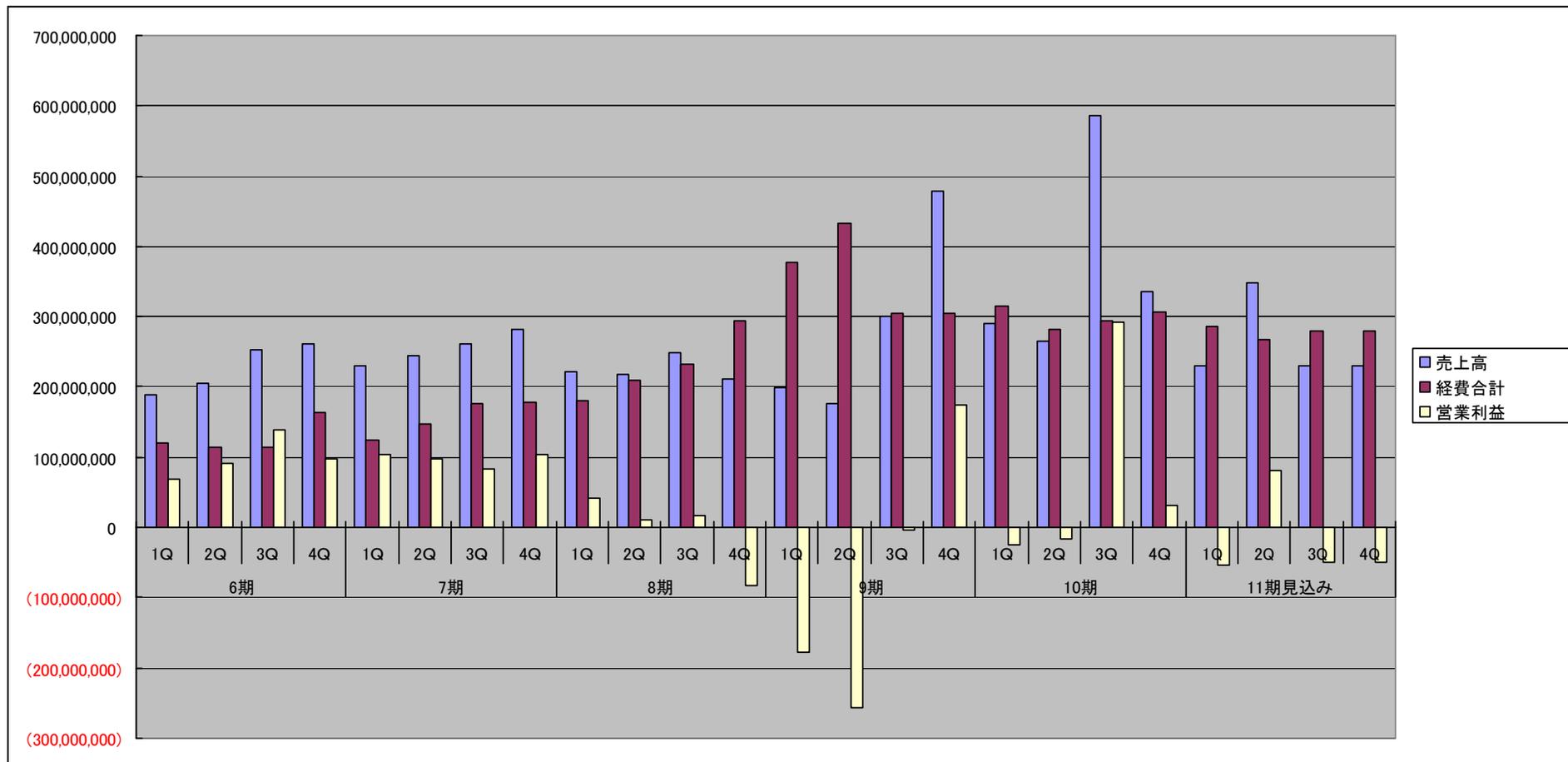


業績の推移



◆ 連結業績推移 及び 11期見込み (クォーター別: 売上・経費・営業利益)

(単位:円)

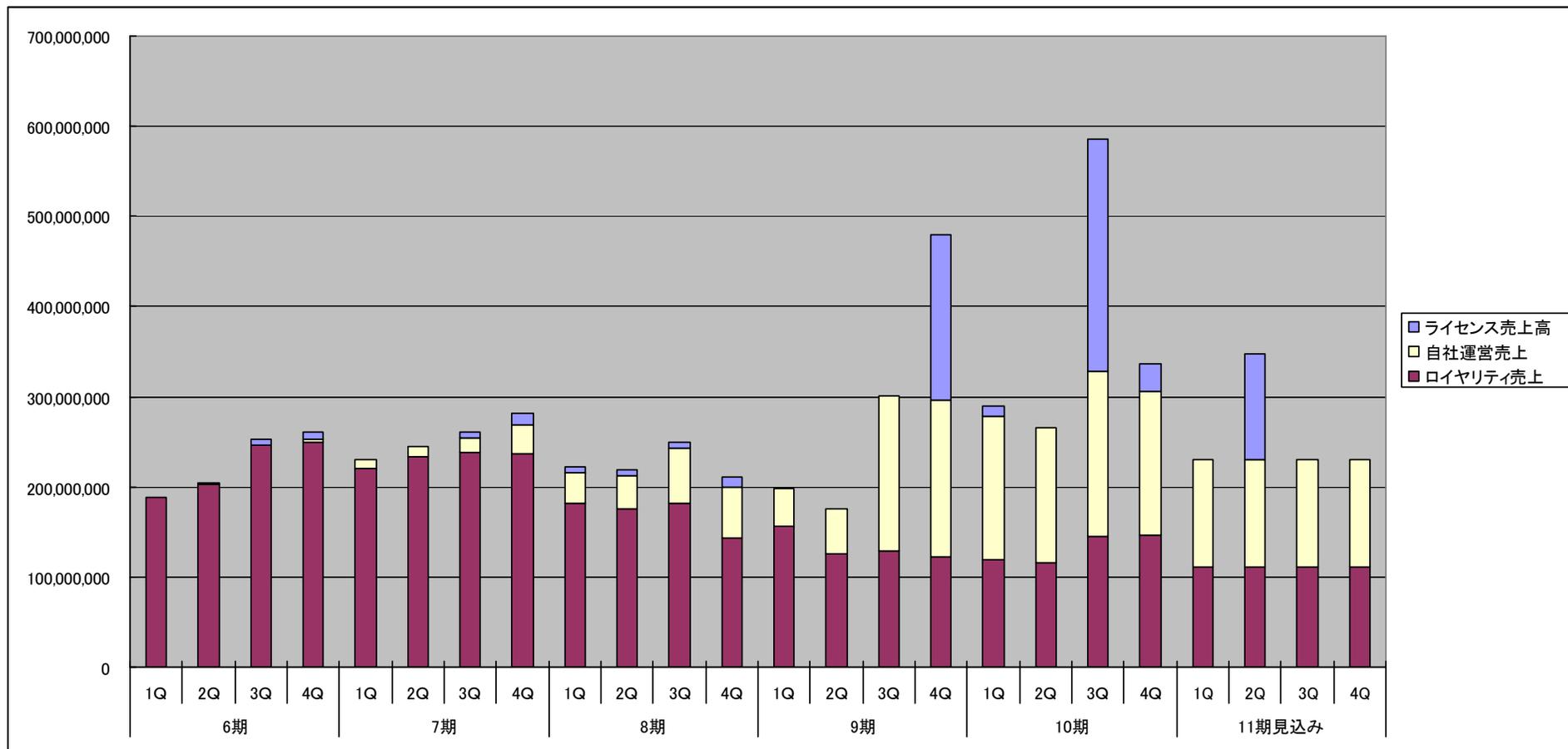


業績の推移

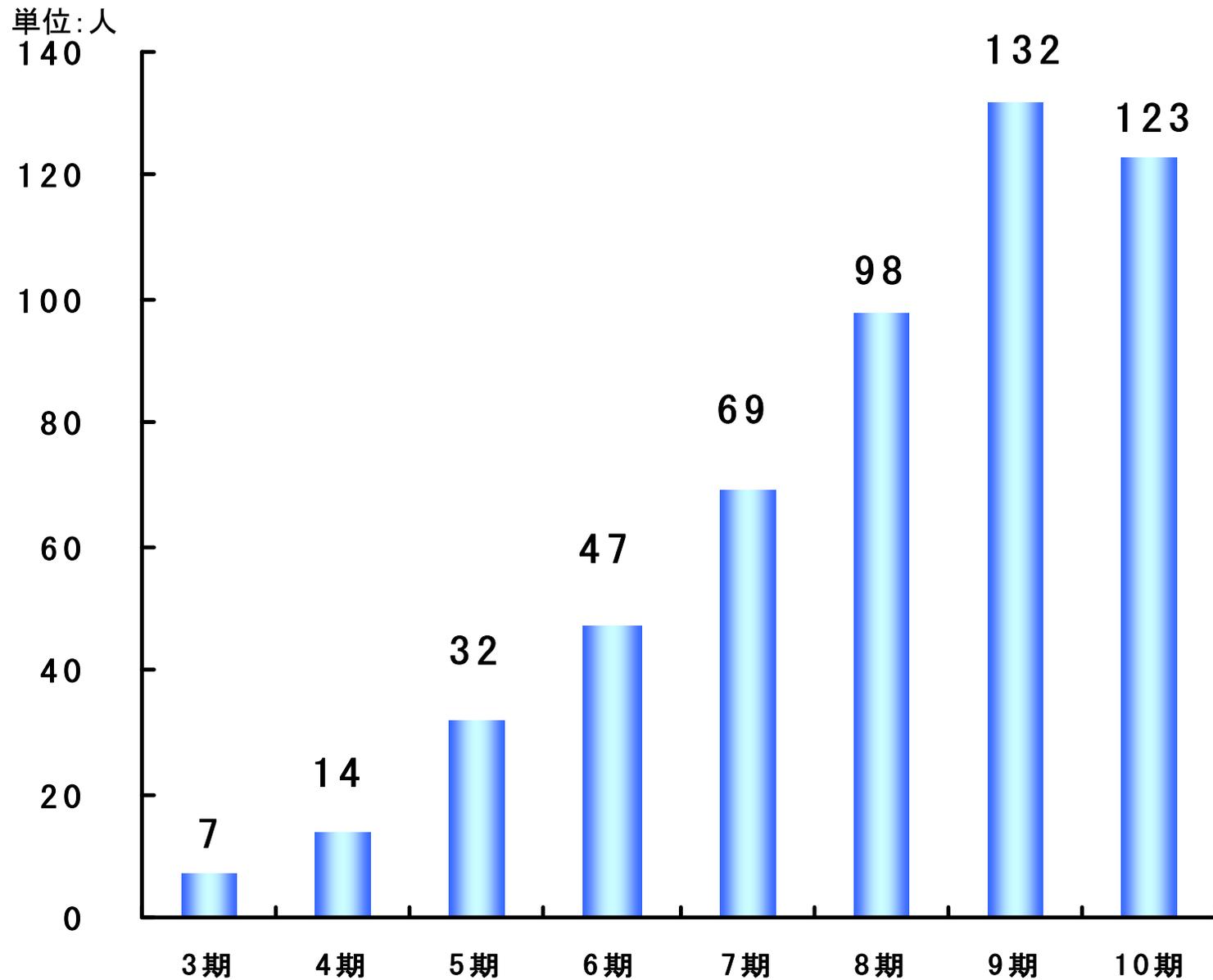


◆ 連結業績推移 及び 11期見込み (クォーター別: 売上内訳)

(単位:円)



従業員数の推移



目標

■ 海外への積極的な進出

日本、北米、韓国、欧州におけるサービス基盤を強化、構築し、自社開発した新規タイトル、サービスを素早く各地域においてサービスを提供できる体制を実現する。

■ 低コストオペレーションの実現

極端に円高が進んでおり、見通しが不明瞭なため、各国のサービスを可能な限り低コストで行う。

■ 収益性の確保

自社開発自社サービスが強みとなるように活動を進めていく。

CyberStep Robot Project (新規事業一例)



ありがとうございました



本資料記載事項に関する注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報にもとづき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。